



温水浴施設に指定管理者制度を導入



▲中田市長(左奥)から指定証を交付

公の施設の管理を民間に委託する「指定管理者制度」の導入に伴い、十二月二十八日、中央庁舎で指定管理者になった民間事業者へ、南あわじ市から指定証を交付しました。

この制度を導入した施設は、次のとおり。

- ▽南あわじくア施設「さんゆく館」
- ▽南あわじリフレッシュ交流ハウス「ゆーぶる」
- ▽ゆとりつくくアハウス

指定管理者指定証交付式

▽ゆとりつくくクラブハウス
▽南あわじ市温水プール「サンプール」

指定期間は、四月一日から五年間です。

南あわじ市では、今後も行財政改革の一環として、民間事業者などの能力や柔軟さを幅広く活用するこの制度を導入し、利用者や市民から評価いただける運営をしてもらう方針です。

交通事故防止へ総力あげて

南あわじ交通事故なくし隊の発隊式

昨年発生した交通事故が、十四年ぶりに二桁の十件になった南あわじ市では、同市交通対策協議会が交通事故撲滅をめざし、「南あわじ交通事故なくし隊」を結成。一月十七日南あわじ警察署で、市や警察、安全協会、自治会、老人会など各種団体から約四十人が参加して発隊式が行われました。

田南あわじ警察署長らのあいさつの後、細川南あわじ市生活環境課長が事故防止への決意表明を行いました。この後白バイ・パトカーの点検を行い、終了後、同隊は市内に分かれて広報活動を実施。

同隊では、今後取締りを強化し、住民への事故防止を訴える広報活動等に取り組んでいきます。



▲整列して中田市長の挨拶を聞く隊員

地域防災の要として、気持ち引き締め

消防団初出式



▲団長からの訓示を聞く消防団員

南あわじ市消防団初出式が一月六日、三原健康広場で行われ、昨年十二月に発足した、女性だけの消防分団「なでしこ分団」の二十人を含む計六十分団、千二百五十人が参加しました。

まず、消防車両四十三台による機動隊入場につき、なでしこ分団、緑、西淡、三原、南淡方面隊の順番で、堂々と分列行進が行われ、会場は緊張感の漂う引き締まった雰囲気となりました。

集まった団員を前に、真野和典団長は「昨年は、消火活動や防火活動、行方不明者捜索等の任務に精励いただき、ご苦労様でした。近い将来発生するといわれる南海地震においても、対応を強化して、地域防災の要としての役割を十分果たしてほしい」と訓示。

この後、市長や来賓の方々のあいさつがあり、激励を受けました。団員らは真剣な表情で話を聞き、気持ちを新たに身を引き締めていました。

将来を担う新成人が誕生

南あわじ市成人式を開催

新成人を祝う南あわじ市二〇〇八年成人式が一月十三日、文化体育館で開催。晴れて大人の仲間入りをした五百三十六人が参加しました。

式典では、中田市長が「これから権利と義務が発生することを認識して、南あわじ市づくりに皆さんの大いなる力を貸してください。ご活躍を期待します」と贈る言葉を述べました。

二十歳の主張では、新成人が音楽パフォーマンスを披露。この後、若者が選んだ地元の特産品などが当たる抽選会が行われ、会場内は和やかな雰囲気になりました。

最後に窪田雅之実行委員長が「多くの人と出会い、心がふれあって、まちを創っていくすばらしさを感じるようになってきました。これからは二十歳の自覚を持って夢や希望に突き進みたい。ご指導をお願いします」とお礼の言葉を述べられました。



▲写真撮影に臨む新成人たち

年金だより

「ねんきん特別便」をお送りします

年金記録のご確認を社会保険庁へ

すべての加入者にお届けします

基礎年金番号に結びついていない約5千万件の記録について、平成19年11月からコンピュータによる名寄せ作業を開始し、その結果、皆さまの基礎年金番号の記録と結びつく可能性のある記録が出てきた方に、19年12月～20年3月までの間に、「ねんきん特別便」を順次お送りします。

それ以外のすべての方に、次の期間に「ねんきん特別便」をお送りします。

- ▽年金受給者の方々 20年4月～5月
- ▽現役加入者の方々 20年6月～10月

ねんきん特別便 相談

▽日時 3月13日(木) 午前11時～午後3時

▽場所 南淡公民館

※必ずご予約ください

▽申込み 総合窓口センター

1、市民課 ☎43・5023

ふれあい市長室 冬柴国土交通大臣に

十三万人余りの署名を手渡し

南あわじ市長 中田勝久

先般、冬柴国土交通大臣に対して、淡路島民の願いを込めた神戸淡路鳴門自動車道の通行料金低減化に関する十三万人余りの署名簿をお渡しいたしました。総理大臣の交代などの影響により陳情時期が遅れましたが、登里南あわじ市議会議長や洲本市長、淡路島の各種団体の代表者とともに、淡路島の活性化と将来への飛躍のため、島民会議会長として大臣に訴えをさせていただきました。

強い印象を与え、淡路島の意気込みを示すため、淡路人形の八重垣姫から要望書と灘黒岩水仙郷の水仙の花を、大臣にお渡ししました。

まず、特別料金の設定や社会実験の実施と一定の成果に感謝申し上げ、淡路島にとってなるとしても通行料金の値下げが必要なこと、淡路島も活性化に向け一生懸命頑張るとの思いなどを告げました。

柳洲本市長からは、国交省内に観光庁を設置する予定と聞くが、観光振興のためにも通行料金を引き下げたいと存じます。

二之湯総務大臣政務官へは、通行料下げと併せて、宝くじの収益金を活用した減収対策について提言し、渡海文部科学大臣には淡路人形協会への支援を要請してまいりました。

今後は、料金の低減化運動を継続的に展開するとともに、淡路島の魅力をより一層売り出し、販売促進や交流人口の増大に繋げてまいりたいと存じます。

市民の皆様におかれましては、一人ひとりが「株式会社南あわじ市」の役員との認識で協力いただき、私自身も南あわじ市の「営業マン」として努力いたしてまいります。